御便りに依れば十二月十日、上原のトーキビ切りの卯日でありました
自分等の部隊は出陣以来の悪戦苦斗であり目的の
陣地に侵入するや、敵の打ち出す砲弾は我が砲兵陣地
の真上にドカン〱と命中して戦死、戦傷、多数出しました
自分等の助かつたのは友軍（座）機の猛烈なる爆撃戦
の為めであります。丁度其の時、自分等の前方二三十名の
正面に居った、戦友を失ったのは残念でたまりません
戦友は大分出身、自分と同年兵で十二年前に入
野砲兵十二聯隊の同中隊に同班の友達、しかも今は現役満
期後も警察官に務め巡査部長までなり恩給生活の
出来る人格者で、内には子供四人あると話して居った事で
あります。儀牲者の数を出せば限りは有りません、之れにし
失れいたします、何分自分の苦労を見られたのは十二月十日の
夜か、十二日の夜であったでしょうね　十二日の夜の苦心は
後に御便りしたいます。